

富所潤の

FISHING GRAPH

フィッシンググラフを見て感じて楽しむ沖釣りライフ

⑰ 日中のメタルスッテゲーム

フオースマスター200in

玄界灘・呼子のイカ

◎隔月連載



夜明け前に出船、ポイントを目指す



船は夜釣り同様にパラシュートアンカーで流す。水深は50～60メートル



今年は例年より早く5月より始まり、好調が続いている呼子のイカ



棚田を縫うように大浦漁港へ下りる



西日本や日本海で昼間のメタルスッテゲームが広まっている。「日中のメタルスッテ、いわゆるデイメタルは、船の流し方などは夜と同じです。ただし、イカが浮くことがほとんどないので、底付近を狙うのが特徴です」

九州北西部の玄界灘、遠く志岐島を望む水深56メートルのポイントにてパラシュートアンカーが入れられると、イカ先生・富所潤さんはセフィアノリノリスッテII 20号とフワフワスッテIIの仕掛けを投入。スッテを底から1メートル離して誘うと、さっそくセフィアXTUNEメタルスッテB66UK・GSのウキウキトップがサワリをとらえる。

◎とみどころじゅん シマノインストラクター。ティップエギング、メタルスッテゲーム、ライトヤリイカのほかタチウオなど、船のライトゲーム、「楽しむ釣り」の最先端に行く。



【フォームスター200DH】

◎昼間のメタルスッテゲームは水深50メートル前後の海底付近がタナとなり、スッテやオモリは25～30号を使う。フォームスター200はその巻き上げを素早くこなし、タナでは高いギア比設定によりリズムカルかつ繊細な誘いを行うことができる軽量&コンパクトな電動リール。電動と手巻きの長所により、メタルスッテゲームをより快適に、楽しくしてくれる。

◎SPEC ギア比=8.2 最大ドラッグ力=5.0kg 自重=385g
糸巻量PE (タナトル) =0.8号-270m、1号-220m、1.5号-150m 最大巻上長=86cm/ハンドル1回転 ペアリング数=BB9/ローラー1 ハンドル長=200DH=55mm、200=60mm シマノ巻上力=27kg 実用巻上持久力=3kg 最大巻上速度195m/分



▲自然にバミングした状態で細かいコントロールが可能タッチドライブ
▼底の取り直しやフォールでの誘いをワンタッチで行えるスピードクラッチ



潮が速いときや大型狙いではオモリが効果的なことも。仕掛けを変えて楽しむ



◀好みの速度までワンタッチで到達し、不意の急速巻き上げを防ぐ中間速設定。メタルスッテゲームでは、身切れを防ぎ、巻き合わせもできる中間速13がおすすめ

タックルの進化は「楽しさ」をより広げてくれる。今年、各地でデイメタルが広まりつつある



水深61メートル。頻繁な巻き上げは電動で快適に



中間速13でドラッグを効かせつつ良型を巻き上げる



種類、サイズ、カラーは多彩。組み合わせは自由だ
◎左より【セフィアスイズドロップパー2.5号】【セフィアクリンチ フラッシュベスト2.5号】【セフィアフワフワスッテII(S)】【セフィアフワフワスッテII(M)】【セフィアノリノリスッテII20号(メタル)】【セフィアコロコロスッテ25号(メタル)】
▼仕掛けはセフィア スッテアシストリーダー各種

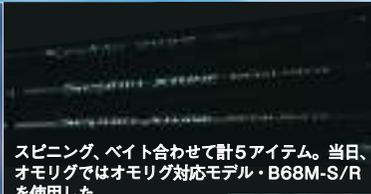


変えた終盤、この日一番の引きが訪れる。上がってきたのは胴長40センチ近い大きなケンサキイカだ。
「これぞ呼子のイカですね！」
日中でもバラアンカーによる大流しで釣れ続く女界灘のイカの濃さは圧巻だが、これらデイメタルのメソッドは今後、関東を含め全国的な広がりを予感させる。それほど、メタルスッテゲームは面白い。

【セフィアXTUNEメタルスッテ】

◎メタルスッテゲームはサワリを察知して積極的に掛けて行く釣り。そのため軽さや感度と同時に、機敏にスッテを動かすことができるコントロール性が大切になる。XTUNEメタルスッテは、あらゆる方向に対してさらなる高強度化を追求したハイラルXコアの採用により、プレズ、ねじれず、意のままにスッテを動かすことができる。

B66UK-GS(写真)◎SPEC 全長=1.98m 継数=3 仕舞寸法=116.3cm 自重87g スッテサイズ=3～20号 カーボン含有率=98.4%



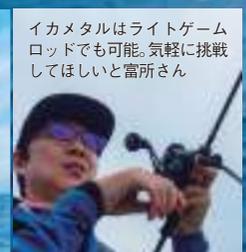
スピニング、ベイト合わせて計5アイテム。当日、オモリグではオモリグ対応モデル・B68M-S/Rを使用した



▶疲労を軽減、コントロール性も優れるフロントトリガー採用



いわゆる「呼子のイカ」とはこのイカのこと。大きなケンサキイカが昼間から釣れ盛る



イカメタルはライトゲームロッドでも可能。気軽に挑戦してほしいと富所さん

「サワリが出たら即合わせて、2、3回空振りしても気にせず、あの手、この手で掛けるのは昼間も同じです。ただし、イカの反応が悪くなったら、夜以上に頻繁な巻き落としと、スッテ交換が必要です」
狭いタナを集中して攻めるデイメタルは、イカにスッテを見切らせない工

「サワリを狙うことになるので、重め、かつ、巻き上げ距離が長くなります」
富所さんはフォームスター200DHで積極的に手返します。
「サワリが出たら即合わせて、2、3回空振りしても気にせず、あの手、この手で掛けるのは昼間も同じです。ただし、イカの反応が悪くなったら、夜以上に頻繁な巻き落としと、スッテ交換が必要です」
狭いタナを集中して攻めるデイメタルは、イカにスッテを見切らせない工

即座に合わせつつ右手でフォームスター200DHのダブルハンドルで素早くリールリング、イカの乗りを確かめながらタッチドライブで中間速13での電動巻き上げに移り、加速時の抵抗を利用してイカをしつかりカンナに掛ける。1投目からケンサキイカ、関東で言う大きめのマルイカが上がる。続いて2杯目を釣ったところで、富所さんはスッテを交換。
「潮はそれほど速くありませんが、着

底まで時間がかからないほうがよいので、素早く沈むセフィアコロコロスッテの25号に替えます」
イカが宙層へ浮いてくる夜と違い、昼間は毎回、海底までスッテを下ろし、底周辺をしつくり探る。そのため、少しでも釣りにくいと感したらメタルスッテを重くして確実に底を取り、道糸を立てることが大切だと富所さん。
「つまり、デイメタルは夜に比べて深

夫が、サワリを出させるカギになる。
「メタルスッテゲームの魅力はスッテをあれこれ選び、悩み、誘いを変えて、イカとの駆け引きを味わうことにあります。その点において、素早い電動巻き上げにより手返しよく、疲労も軽減されると、スッテ交換を躊躇しませんが、軽量、コンパクトで手巻きリールとしても十分なパフォーマンスを持つフォームスター200DHは、誘いやロッドコントロールも思いのまま。つまり、メタルスッテゲームの「楽しさ」を際立たせてくれます」
さらなる大型を狙うべくオモリグに

女界灘はメタルスッテゲームの楽園のような海。正面、馬波島の右手奥は宮崎島